

「期限表示活用で、家庭から減らそう食品ロス」

I 概要

1 事業の目的

昨年度の委託事業「期限表示活用で減らそう食品ロス」で実施した市民の期限表示活用と食品ロスに対するアンケート調査結果を基に、「期限表示活用で、家庭から減らそう食品ロス」をテーマに啓発講座を開催し、期限表示の正しい知識と期限表示活用で食品ロスにしない方法、また食品ロスにしない調理技術を伝え、家庭で継続できる食品ロス削減策を提案する。

2 実施期間

平成 29 年 7 月から平成 30 年 3 月

3 事業の方法及び内容

新潟市内 5 か所と市内の専門学校、短期大学で啓発講座を開催する。講座は、昨年度調査結果を基に、期限表示活用と食品ロスについての講義、食品ロスにしている食品を捨てない調理技術の実習を行う。また、受講者に期限表示活用と食品ロスについての意識と講座について、及び受講 1 か月後の実態についてのアンケートを実施し、その結果を集計、分析して啓発講座の実効性を検証し、今後の食品ロス削減策に役立てる。

II 啓発講座及びアンケート

1. 啓発講座の開催

講座は「期限表示活用で、家庭から減らそう食品ロス」を市民が実践できるようにするため、期限表示についての正しい知識と期限表示を活用して食品ロスを減らす方法を伝える講義と、期限切れ前と後の豆腐の比較や期限切れで捨てられている食材を捨てない調理方法を伝える実習の 2 本立てとした。

新潟市消費者協会の新潟支部、豊栄支部、新津支部、白根支部、巻支部の会員居住地域及び専門学校と短期大学の市内 7 か所で開催した。受講者は 212 人。内訳は男性 31 人、女性 181 人、年代別では 30 代以下 98 人、40 代以上 114 人。



左右 「にいがた食育・保育専門学校えぽろん」での啓発講座



下 新潟市内各地区では、勉強と使い切るための工夫の実習を行った。



上 使い切る実習で、牛乳で作る、カッテージチーズ、きゅうりの佃煮、炒り豆腐、納豆チャン等々作る

2. アンケート 受講前＜質問 1＞ 受講直後＜質問 2＞ 1 か月後＜質問 3＞

期限表示活用と食品ロスについての意識・行動について質問 1、講座についての質問 2、受講後の変化と講座で得た知識や技術がどの程度実践されているかの質問 3、3 つのアンケート調査を行った。

3. アンケート結果(抜粋)

受講後＜質問 2＞

本講座に参加した理由 ※回答者は授業の一環として受講した学生を除く 112 人

ア、食品ロスに関心がある 69 人、イ、期限表示について知りたかった 3 人、ウ、裏技レシピに興味があった 9 人、エ、友人、知人に誘われた 14 人、オ、なんとなく面白そうだった 4 人。

講座の満足度

1. 講義

食品ロス削減の裏技

- ・冷蔵庫・冷凍庫の管理 ア、よかった 78% イ、普通 17% ウ、よくなかった 1 人
1 か月後実践している 58% 実践していない 37%
- ・買物リスト ア、よかった 75% イ、普通 20% ウ、よくなかった 1 人
1 か月後実践している 62% 実践していない 31%
- ・裏技レシピ ア、よかった 86% イ、普通 8% ウ、よくなかった 1 人
1 か月後実践している 39% 実践していない 48%

2. 実習

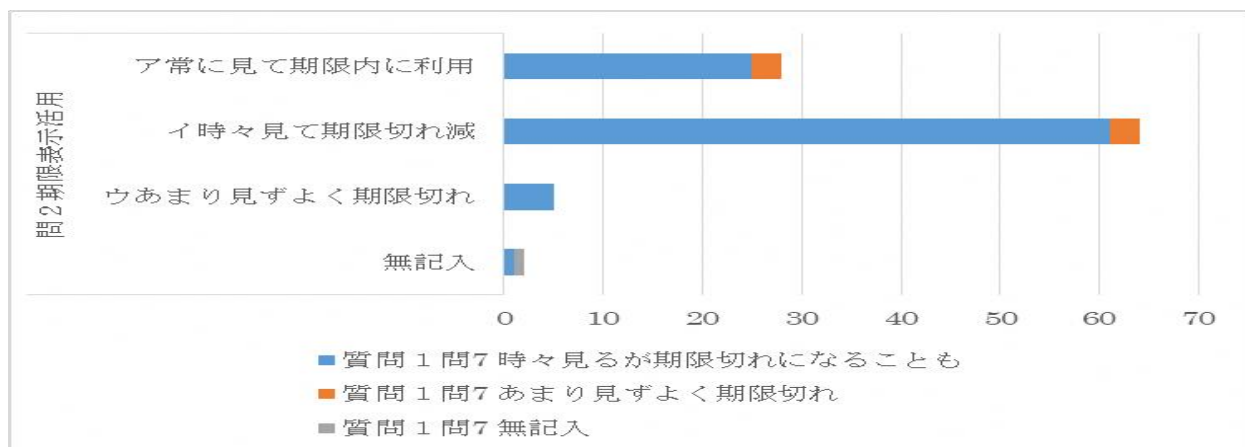
- ・炒り豆腐 ア、よかった 84% イ、普通 11% ウ、よくなかった 1 人
- ・カッテージチーズ ア、よかった 80% イ、普通 17% ウ、よくなかった 1 人

＜1 か月後質問 3＞

食品を購入する時、消費期限・賞味期限を見ていますか。

購入した食品の保管・管理のために消費期限・賞味期限を活用していますか。

受講前の質問 1 との比較で、受講前に見なかった人は全員、期限表示を見るようになり、保管・保存にも期限表示を活用するようになっている。同様に受講前に食品によって見たり見なかったりすると答えた人は大半が変化せず、期限表示をある程度活用している人への食品ロス削減への意識づけが今後の課題。購入後の食品保管・保存にも期限表示を活用して、食品ロスを減らすことを、もっと明確に伝える必要があると思われる。



グラフ 1 購入後の期限表示活用、受講前質問 1 と受講 1 か月後

Ⅲ まとめ

啓発講座とアンケートの結果として次の2点が挙げられる。

(1) 啓発講座は200人以上の参加者があり、概ね好評であった。アンケートでは、受講者は参加の動機の如何に関わらず、講座の内容では実習など参加型形式を好むが、それを実生活で実践するとは限らないことが分かった。一方、講義形式で得た知識や技術は、講座満足度では一番低かった買い物リストが1か月後には一番実践されていたように、受講者がやりやすいように工夫したり応用して実生活でも実践しやすい内容であれば、必要と感じた受講者はきちんと対応していた。**実践できるかどうかは講座満足度より実生活で手軽に取り組めるかどうかが重要である。**

(2) **期限表示活用については、活用していなかった人ほど、受講後に活用するようになり、ある程度活用していた人はあまり変化していなかった。**活用していなかった人は、自分が食品ロスを出していることに気づき、食品ロスを出さないように講義で得た知識や技術を実践するが、**ある程度活用していた人は、自分が食品ロスを出しているという意識が低く、現状よりさらに期限表示をうまく活用して食品ロスを減らそうという意識を持たなかった人が多いのではないかと思われる。**

このことから、期限表示についての講義では、期限表示をある程度活用している人が「自分も食品ロスを出している」と気づき、受講後、現状以上に期限表示を活用して食品ロスを減らそうとする意識を持てるような内容が望まれる。

以上を踏まえて、次年度以降の「期限表示活用で、家庭から減らそう食品ロス」啓発講座は、会場ごとの受講者の年代や生活スタイルによって、講座の内容や伝え方を工夫して、より実践しやすいものにすることが求められる。